

ばんたね ネットワーク



難聴治療センターの紹介

難聴が疑われる方がいらっしゃいましたら、
まずはお気軽に難聴治療センター受診をおすすめください。

加齢性難聴とは、加齢とともに徐々に聴力が低下する病態で、内耳で音を感じる能力や脳へ音情報の伝達精度が低下する感音難聴の一つです。年齢とともに、音受容の感覚細胞は少しずつ減っていきます。聴力の低下は、さまざまな社会生活に影響を及ぼすだけでなく、うつ病や認知症を引き起こす危険性も高まります。加齢性難聴の根本的な治療法はありませんが、初期段階から補聴器などで「聴こえ」を補うことで、社会とのつながりを保ち、自身の音を感じる能力を最大限に発揮し、聴力を維持することが期待できます。



難聴の病態や程度によって、手術により聴力がよくなる方、補聴器で聴こえやすくなる方、人工内耳で聴こえやすくなる方、などさまざまな場合があります。補聴器は、それぞれの聴こえの状況に合わせて調整を行う必要のある医療機器です。ご購入の際は、まず補聴器相談医への受診をおすすめします。人工内耳は約1週間の入院を伴う手術が必要ですが、全身への負担も小さく、健康保険も適用され、80代のご高齢の方でも手術を受けられる方が増えています。



耳鼻咽喉科
岡野 高之 教授

藤田医科大学ばんたね病院難聴治療センターでは、患者さんの聴力、耳の状態、経過を定期的を確認しながら、おひとりおひとりにあった継続的な聴こえの治療、補聴機器のアドバイスを行なっています。難聴の患者さんの紹介受診につきましては、お気軽にご相談ください。

血管造影室が改修されました

より安全で多彩な治療

●血管造影装置の更新

▶シングルプレーン(1方向撮影)からバイプレーン(2方向同時撮影)へ更新し、治療の幅が広がりました

●造影剤注入装置の更新

▶異なる薬剤の同時注入が可能な装置に変更したことで、様々な濃度で造影することができ、複雑な血管走行まで把握が可能になりました

●全身麻酔システムの導入

▶手術室と同様に全身麻酔下での治療となり、より安全に全身管理が行えます

●最新のアプリケーション(AWS)を搭載

▶動脈瘤のサイズ計測や、埋め込み材料の細かなシミュレーションができ、安全な治療支援が可能になりました



新血管造影装置 Alphenix
(キヤノンメディカルシステムズ社製)



AWS

画質の向上・被ばく低減

●高精細パネルを搭載

▶より細かい血管まで高画質で描出
▶画質の向上により、少ない放射線量での治療が可能

●最新機能を搭載

▶オートピクセルシフト(RAPS)機能…位置ずれによる画質低下の防止
▶スポットROI機能…治療に必要な場所に絞って放射線を照射し、通常透視の1/3程度まで被ばくを低減
▶ECG Sync機能…心電図を読み取ることで心臓の動きに合わせて撮影することが可能
▶αEvolve Imaging機能…AIを利用して心臓の血管を見やすく、かつ低被ばくでの検査を実現



スポットROI

血管内治療とは

- 手や足の付け根から細い管(カテーテル)を挿入することで、頭や心臓の細くなった血管を広げたり、動脈瘤の破裂を未然に防ぎます
- 開頭や開胸を必要とする外科的手術と比較して、傷も小さく低侵襲な治療になります

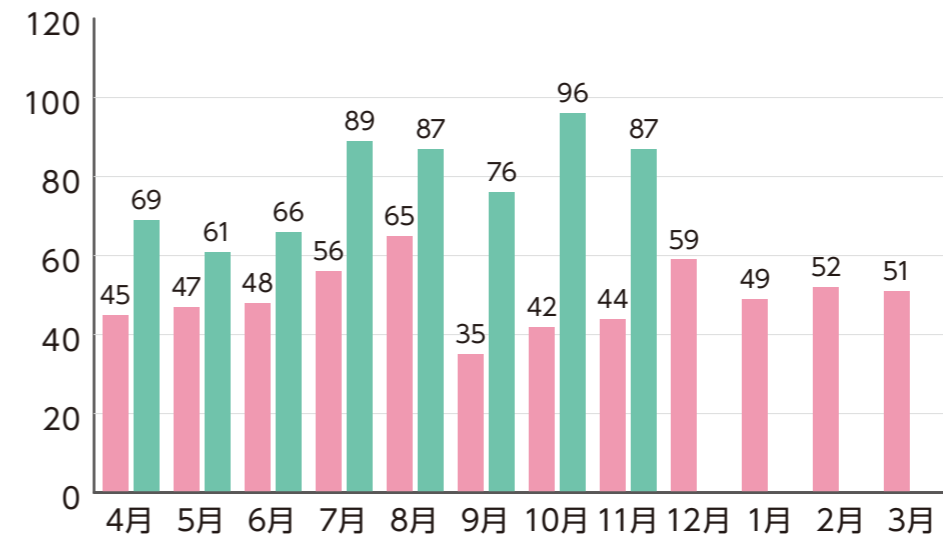


主な対象疾患

- 脳動脈瘤
- 脳梗塞
- 脳出血
- 下肢閉塞性動脈硬化症
- 心筋梗塞
- アブレーション治療
- ペースメーカー埋め込み術

血管造影室 手術件数

■ 2023年度 ■ 2024年度



乳腺外科のご紹介

- 外来日：月曜日：山門 玲菜医師 水曜日：河口 浩介医師

今、女性の9人に1人が乳がんと診断されています。乳がん検診が広まったおかげで、早く見つかるが増え、生存率も高くなっています。私たちは、正確な診断と最新の治療を提供して、皆さんのお役に立ちたいと思っています。乳がんの診断や手術、薬物療法のほか、乳がん検診で異常を指摘された方や、乳房に関するちょっとした悩みがある方も、ぜひお気軽にご相談ください。地域の皆さんのお役に立てるよう、日々精進してまいります。これからどうぞよろしくお願いいたします。



第22回病診連携学術講演会

9月21日(土)にヒルトン名古屋にて第22回病診連携学術講演会を開催いたしました。本講演会は地域の医療機関との連携をより深めることを目的に年に一度開催しており、ばんだね病院の取り組みや最新の医療情報をご提供させていただいております。

地域の医療機関から55名の方にご参加いただき、当院医師による講演を以下の内容で行いました。また、講演後には軽食をとりながら情報交換会を開催し、さらなる医療連携の構築に向けて交流を深めさせていただきました。次回は2025年秋に開催予定です。ぜひご参加ください。

講演会内容

講演Ⅰ「病診連携の取り組み」	地域医療連携センター長 小林隆准教授
講演Ⅱ「ばんだね病院 難聴治療センターでの取り組み」	耳鼻咽喉科 岡野高之教授
講演Ⅲ「泌尿器科領域におけるロボット手術の有用性」	泌尿器科 深見直彦准教授
講演Ⅳ「膵癌の早期発見を目指して」	消化器内科 橋本千樹教授



【編集発行】  **藤田医科大学ばんだね病院** 地域医療連携センター

【発行年月日】 2025年1月31日

〒454-8509 名古屋市中川区尾頭橋3-6-10

TEL:052-321-8171(代表)052-323-5927・5918(地域医療連携センター直通)

FAX:052-323-5726(地域医療連携センター直通) <http://www.fujita-hu.ac.jp/HOSPITAL2/>

